

フランス語インテンシブ III

慶應義塾大学 SFC フランス語教室

2018 年秋学期

SFCにおけるフランス語教育は、実際にフランス語を読み、書き、聴き取り、話すことができるようにすることを目標としています。そのためには、文法を言葉のきまりというよりもしくみとしてしっかり学び、語彙を豊かにしていくと同時に、それを運用するエクササイズが不可欠です。なるべくインターラクティブな授業を進める中で、総合的な外国語運用能力に養います。

秋学期のインテンシブ3のクラスは、読解力を高めるための授業、聞く力・書く力を高めるための授業、文法の観点からフランス語の仕組みを理解するための授業、実践的な応用力を身に着けるための授業から成っています。これら週4回の授業を通して、読む・書く・話す・聞くという四つの能力を総合的に高めることを目指します。

インテンシブ・コースはIからIVまで、以下のように総合的に設計されていますので、本格的に力をつけたい諸君にはぜひそのコースに沿って履修してください。国内研修と海外研修の詳細については、シラバスの各項目をみてください。

インテンシブ I → (国内研修 et/ou 海外研修) → インテンシブ II → (海外研修 et/ou 国内研修) → インテンシブ III → (海外研修 et/ou 国内研修) → インテンシブ IV → フランス語スキル

塾外実力試験では、インテンシブ III 修了後の次の学期に DELF 試験の B1 をクリアするのが目標です。これはかなり野心的な目標です。

大切なのは、授業に積極的に参加することにつきます。教室の中はひとつのシミュレーションの場ですから、間違えることを恐れずに、提示される状況の中でどんどん「行動」して「場数を踏んで」ください。外国語学習の初歩では、進歩は勉強にかけた時間に比例します。

質問がある場合は、λ310 のフランス語研究室へどうぞ。ここには教員だけでなく、CA (コーディネーターアシスタント)、TA、SA がいます。気軽に足を運んでくださいまたフランス語研究室からの連絡はメールか、HP で行います。 [http:// french.sfc.keio.ac.jp/](http://french.sfc.keio.ac.jp/)はいつも見るようにしてください。では…

Allons-y !

時間割

	火	水	木	金
3 F A	2 限 : 宮代	2 限 : Durrenberger	2 限 : 塩田	3 限 : Mailleux

授業の進度、構成、内容

各曜日の授業日程については、フランス語セクションのホームページにアップされている授業日程表を見てください(<http://french.sfc.keio.ac.jp/home/classes/intensive/>)。教材については、各曜日の初回の授業で指示があります。

火曜日の授業では、もともと学習教材として書かれたのではない、本物の文学作品を講読します。仏文読解力を養いつつ、作文力をも身に着けることが目的です。テキストは、Agota Kristof, *Analphabète. Récit autobiographique* (Zoé, 2004)です。

水曜日の授業では、日常的な会話や短いテキストから成る独自の教材を用います。話題の文脈や場の状況に応じてスピーディに会話に加わり、聞き取りやすい発音と適切な表現を駆使して筋の通った意見を述べるような、自己表現能力・実践的な口語コミュニケーション能力を養います。

木曜日の授業では、火曜日・水曜日の授業で出てきた表現を文法の観点から捉えなおすことで、フランス語という言葉の仕組みを理解することを目指します。きちんとした正確な理解と表現ができるような中級・上級の力を身に着けるために、解説と練習を通して、フランス語の文法上の仕組みを習得します。

金曜日の授業は、他の曜日に習った事柄を実際のコミュニケーションの中で使えるように、復習も兼ねておさらいをしながら、応用力の向上を目的とします。その週に習得した事項を、読む・書く・話す・聞くという四つの場面のいずれにおいても使えるようになることを目指します。

成績評価の方法

教員 4 人×25 点	合計 100 点
-------------	----------

最終試験

最終試験は、各担当教員の最後の授業の回（1月15日火曜、16日水曜、17日木曜、18日金

曜)に行ないます。

※追試は一切行ないません。

ただし、petit test など、普段の授業での課題も評価の対象となります。25 点の内訳は、各教員が授業初回時にアナウンスします。

Conférence / Grande Rencontre

今学期は Conférence（講演会）を 1 回、Grande Rencontre（インテンシブ・フランス語を履修している学生が一同に集まる会です）を 1 回予定しています。

- 10 月 24 日（水） Grande Rencontre
- 12 月 7 日（金） Conférence

Conférence, Grande Rencontre は、インテンシブ・コースの一環です。

Conférence, Grande Rencontre の日は、インテンシブの通常の授業は行ないません。

時刻・場所は後日、メールおよびフランス語セクションのホームページで明示します。

国内研修

アンスティテュ・フランセ東京（旧称：東京日仏学院）で行なわれる短期集中特別コースがあります。、大学生・大学院生のニーズに合わせてフランス語を学べます。参考までに、2019 年 3 月に行なわれる予定の研修内容を以下に記します。

2019 年 3 月 12 日（火）～3 月 22 日（金） 10 時 30 分～18 時 15 分（6 時間×8 日＝合計 48 時間）

※3 月 16 日（土）、17 日（日）、18 日（月）は授業がありません。

受講料：84,000 円（年会費不要）

<http://www.institutfrancais.jp/tokyo/apprendre/stages/>

海外研修

以下の 6 カ所で、年 2 回実施（春季、夏季）しています。2 単位と 4 単位の 2 種類の研修があります。詳細は学期中に催される海外研修説明会で説明します。

フランシュ＝コンテ大学応用言語学センターCLA（ブザンソン）、グルノーブル第 3 大学フランス語教育センター、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ルーアン、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・マルセイユ、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ボルドー、クレルモン＝フェラン大学協定校（ヴィシー）

ラジオ・テレビ

NHK のフランス語講座の時間帯は次の通りです。ぜひ活用してください。

ラジオ：まいにちフランス語

放送： 月～金曜日 午前 7 : 30～7 : 45

再放送： 同日 月～金曜日 午後 2 : 30～2 : 45

再放送： 翌週 月～金曜日 午前 11 : 00～11 : 15

テレビ：テレビでフランス語

放送： 水曜日（火曜深夜） 午前 0 : 00～0 : 25

再放送： 翌週 木曜日 午前 6 : 00～6 : 25

そのほかに、次のようなサイトもあります。

<http://www.nhk.or.jp/daily/french/> 日本のニュースをフランス語で聴けます。

<http://www.radiofrance.fr/> フランスのラジオ局（複数）の放送が聴けます。

<http://jt.france2.fr/> フランスの公共放送局 France 2 のニュースを視聴できます。

<http://www.lemonde.fr/> フランスの高級紙 *Le Monde* を読むことができます。

DELF/DALF

DELF および DALF という「フランス文部省認定フランス語資格試験」は、1986 年 5 月より行なわれているフランス文部省認定フランス語資格試験で、セーヴルの中央機構 Commission Nationale 全国委員会の管理のもと世界 160 余カ国で実施されています。

DELF・DALF はいわば世界標準的な資格ですから、フランスやフランス語圏の国に留学する際、言語資格面での保証となります。日本で各種奨学金試験に応募する際にも、その資格は仏検と並んで多くの場合強い味方になります。

DELF は A1, A2, B1, B2 の 4 段階、DALF は C1, C2 の 2 段階に分かれています。詳しくは DELF/DALF 試験管理センターのサイト (<http://www.delfdalf.jp/>) を参照してください。

TCF

TCF (Test de Connaissance du Français フランス語能力テスト) はフランス文部省公認の世

界共通の、フランス語圏以外の国の人々を対象としたフランス語能力診断テストです。試験結果は合否でなく、得点で示されます。獲得得点は2年間有効です。試験は内容別に3つ（読解、文法、聞き取り）にわかれ、フランス語の総合力を確実にかつ正確に診断するとしています。

SFCはTCFの実施会場の一つです。試験は現在のところ2019年1月の土曜日に実施予定ですが、詳細についてはメール等で改めて連絡します。

<http://www.ifjtokyo.or.jp/cours/examens/types.php>

Niveau du Conseil de l'Europe 欧州評議会設定レベル		TCF	DELFI/ DALF
レベル 6	非常に優れたフランス語の運用能力を持つ。読むもの、聞くものの全てを即座に理解し、かつ的確に要約することができる。複雑なテーマについても、様々な形で、ニュアンスを交えつつ流暢に意見を述べることができる。	600～ 699 点	DALFI C2
レベル 5	フランス語の優れた運用能力を持つ。含みのある難解な長文テキストであっても、そのほとんどを解し、自分の社会的な立場や仕事、学問との関わり、あるいは他の複雑なテーマについても、流暢かつ論理的に述べるができる。	500～ 599 点	DALFI C1
レベル 4 autonome	フランス語を全般にわたって自主的に運用できる。複雑なテキストの要点を理解すると同時に、一般的あるいは専門的な内容の会話に加わり、筋の通った意見を明確かつ詳細に述べるができる。	400～ 499 点	DELFI B2
レベル 3 seuil	フランス語を効果的にマスターしているが、限界がある。身近な分野の明快で標準的な表現なら理解する。旅行先で会話をこなし、自分に興味のあることを話すことができる。計画やアイデアに関して短く説明することも可能。	300～ 399 点	DELFI B1
レベル 2	フランス語の初歩をマスター。身近な分野の単文を理解。慣れた状況でならコミュニケーションが可能。自分に関する問題を単純な手段で表現できる。	200～ 299 点	DELFI A2
レベル 1 survie	フランス語の基礎レベル。日常生活での単純且つ具体的な状況を理解する。相手がゆっくり話すなら、簡単なコミュニケーションも可能。	100～ 199 点	DELFI A1

仏検（実用フランス語技能検定試験）

◇ 秋の仏検には準 1・2・準 2・3・4・5 級の各試験があります。

実施日程

1 次試験（準 1・2・準 2・3・4・5 級） 2018 年 11 月 18 日（日）

2 次試験（準 1 級・2 級・準 2 級の 1 次合格者対象） 2019 年 1 月 27 日（日）

受付期間

願書郵送による申し込み : 2018 年 9 月 1 日（土）～ 10 月 17 日（水）消印有効

インターネットでの申し込み : 2018 年 9 月 1 日（土）～ 10 月 24 日（水）23:59 まで

問い合わせ先（<http://apefdapf.org/>参照）

財団法人フランス語教育振興会 仏検事務局

tel: 03-3230-1603 fax: 03-3239-3157

メディアセンターの MMLS（マルチリンガル・スペース：下記参照）に、過去の問題集（音源付き）があり、フランス語研究室前にはパンフレットなどが置いてあります。また個々の相談にも応じます。チャレンジしよう！

マルチリンガル・スペース（MMLS）

メディア・センター2 階は「マルチメディア・マルチリンガル・スペース」があります。その居心地の良い空間には CD-ROM、CD、ビデオ、雑誌、新聞、辞書、参考書（仏検、DELF・DALF 参考書も）などフランス語の勉強に必要なものは何でもそろっています。

また、フランス語共同研究室隣の 309 にもフランス語版 MMLS があります。ここには初級から中級までのフランス語の絵本、漫画、小説などもそろっています。教員や TA、そして SA もすぐ近くに居るので、何か質問があればいつでもたずねることができる贅沢な空間です。あとはあなたのやる気次第。どんどん利用して、フランス語の達人になりましょう！

2018 年 9 月

慶應義塾大学 SFC フランス語教室